

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 4 (2022) 年 9 月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <https://jha-e.jp/>  
受付時間 10:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発 行 日 毎月 1 日



## 変わりゆく現場が求める診療情報管理士

中山 和則

筑波メディカルセンター病院 副院長兼事務部長  
医師事務作業補助者コース小委員会 委員

私は一時期専門課程小委員会委員として、スクーリング講師や作問、認定試験の試験監督など、診療情報管理士を目指す皆さんと想いをひとつにしておりました。現在は医師事務作業補助者コースにて、32 時間研修にかかわっておりますが、専門課程小委員会の時から、事務部長としては複雑な思いがありました。それは、たくさんの診療情報管理士が養成されていくなか、病院という現場で、その活躍の場、活躍のあり方が、診療録の物理的な管理や「ICD コーディング」というコード化業務を主としていた時代から、データベースを構築する「情報の管理」、構築されたデータベースから必要な情報を抽出・加工・分析する「情報の活用」に移ってきたこと、病院によっては診療情報管理士が充足され、新規採用枠がなくなってきたこと、診療報酬でも、診療録管理体制加算より医師事務作業補助体制加算のほうがインパクトが強く、2 年から 3 年の教育を受けた診療情報管理士にどのような未来があるのかと。

しかし、医師事務作業補助者に長年関わっているうちに、診療報酬や働き方改革などの医師事務作業補助者への期待が大きくなるにつれ、OJT の入口である 32 時間研修では、どうあがいてもその期待に応えることは難しく、更なる上の教育が必要であるという壁にぶつかったのです。

そこで、診断書等作成補助をするメンバーに、診療情報管理士資格をとった職員を担当させたところ、基礎知識があることはこんなに違うのかというほど医師からの教をを吸収していき、力を発揮するようになりました。それからは診療情報管理課や医師事務作業補助はもとより、医事課、地域医療連携課、施設基準を扱う総務課、購買管理課、経理課や広報課まで、40 名近くの診療情報管理士を各部署に配属しています。

医療機関で働く事務職にとって、診療情報管理士がもつ基礎知識は、業務だけでなく技術職とのコミュニケーションにも大きな力を発揮しているようです。この資格は医療機関事務職の基礎力となり、今後、医療安全管理や病院の経営管理に寄与する高い専門性とスキルを必要とする職種として活躍していけるのではと高い関心を持っています。医療機関におけるデータ管理と活用、医療の質の評価等を進めていくもの、基礎知識を武器に様々な部署で力を発揮するもの、診療情報管理士を目指す皆さんを多様な世界が待っているものと、多くの事務管理者は思っているに違いありません。期待しております。